

香港でISLA 2019受賞式開催される



(ISC)² Secure Summit APAC の期間中である7月10日に香港のコンラッドホテルで、第13回年間アジア・パシフィック情報セキュリティ・リーダーシップ・アワード (ISLA) の表彰式が行われた。

ISLAは毎年1回、情報セキュリティ分野で目覚ましいリーダーシップを発揮した人々を表彰している。今年はAPAC地域から13名(うち日本からは3名)が表彰された。日本からのISLA受賞者は以下の通り。

Senior Information Security Professional部門 受賞



米川 敦 氏, CISSP
調査役, 三井住友信託銀行、日本
Showcased 表彰及び Community Service Star



雲田 陽一 氏, CISSP
東京2020グループ企画官, 内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター、日本



安田 良明 氏, CISSP, SSCP
ナショナルセキュリティセンター センター長, S&J株式会社、日本

Secure Summit APAC 2019



7月10日、ISLA2019授賞式と同時に(ISC)² Security Summit APAC 2019が香港のコンラッドホテルで開催された。今年は、「最先端の技術とアイデア」「IoT/OT セキュリティ」「ガバナンス、リスク、コンプライアンス」「専門的な開発」「ID アクセス管理」「セキュリティ操作」に関する講演が行われ、約350名が参加した。サミットを通して、専門家及び業界のリーダーと知識・国際的なベストプラクティスが共有された。



(ISC)² Security Congress 2019開催 10月28~30日、ディズニーワールドの街・オーランドにて

昨年ニューオーリンズで開催され、会場が満員となった(ISC)² Security Congressが、10月28日~30日に米国フロリダ州オーランドで開催される。(ISC)²が年に1回開催するこのイベントでは、には4,000人以上の(ISC)²メンバーが集い、100を超えるセッションが行われる。最先端のサイバーセキュリティに関する情報を得る場としては最適と言えるだろう。

今年の会場はオーランドのディズニーホテルとなる。家族サービスを兼ねてスキル向上を図るのも一策だ。登録は<https://congress.isc2.org> まで。

(ISC)²の主な認定資格



Certified Information
Systems Security Professional

経営者の目線、情報セキュリティ責任者の目線、そして現場の目線を持ち、体系的な知識に基づいて**情報セキュリティを統合的にマネジメントする専門家**のための資格。世界各国で13万人以上が保有する、情報セキュリティ専門家資格のグローバルスタンダード。



Systems Security
Certified Practitioner

CISSPが策定した計画に基づき、現場で情報セキュリティを実現する技術者のための資格。**ネットワークエンジニア・システムエンジニア**が、セキュリティ専門家とコミュニケーションをとり、正しい情報セキュリティの理解に基づいて日々の業務を行うために必要な知識とスキルを認定する。



Certified Cloud
Security Professional

クラウドサービスを安全に利用するために必要な知識を体系化した資格。Cloud Security Alliance (CSA)と共同で開発。CCSK (Certificate of Cloud Security Knowledge)の上位資格として位置づけられる。「クラウドファースト」を推進する組織のセキュリティ責任者として需要が増加している。

(ISC)² AdvocacyのJohn McCumber氏がNICE WGのCo-Chairに就任

アメリカ国立標準技術研究所(NIST)が発行するNICE Frameworkの開発に貢献

2月6日、(ISC)² 北米エリアのDirector of Cybersecurity AdvocacyであるJohn McCumber氏が、NICE (National Initiative for Cybersecurity Education)のTraining and Certification WGのCo-Chairになったことが発表された。NICE Frameworkは、NIST (National Institute of Standards and Technology)が発行する、サイバーセキュリティに関する教育や人材開発に関するフレームワークであり、米国だけでなく、各国で活用されているものである。

McCumber氏がCo-Chairを務めるWGでは、国家のサイバーセキュリティに関する需要に応えるための能力評価やトレーニングプログラムの開発及び管理について議論を行う。また、このSub-committeeでは、NICEフレームワークにおける専門家資格のマッピングについて



John McCumber氏

も研究している。このグループには、資格のフレームワークを開発するチーム、スキルベースのトレーニングと能力ベースの資格プログラムを検証するチーム、サイバーセキュリティ人材増加の手段を検討するチームの3つプロジェクトチームがある。

NICE Frameworkはサイバーセキュリティの人材育成において非常に重要な位置を占めるものであり、McCumber氏の就任は、(ISC)²がサイバーセキュリティの分野で重要な役割を果たしているということをも米国政府が認めたといえることができるだろう。

- 初開催 -

CCSPチャレンジセミナー

6月20日、初のCCSPチャレンジセミナーが開催された。セミナーでは、(ISC)²認定主任講師諸角昌宏氏により、CCSPの視点からクラウドセキュリティに関する解説が行われ、約50名が参加した。

今後も、継続的にCCSPチャレンジセミナーを開催し、CCSPトレーニングも今年中に開催する予定だ。



- コラム -

クラウド・バイ・デフォルト時代のセキュリティ



(ISC)² 認定講師
諸角 昌宏氏, CCSP

日本政府が、クラウドサービスの利用を第一候補とする方針（クラウド・バイ・デフォルト）を打ち出しているように、クラウドの利用が急速に拡大しています。同時に、クラウド環境におけるセキュリティを理解することが重要になっています。しかしながら、クラウドのセキュリティは、全てクラウド事業者が責任を負ってくれるというような間違った理解をされているケースも見受けられます。

クラウドセキュリティの基本は、責任共有モデルであり、クラウドの利用者と事業者

者が、責任境界を理解し、お互いに責任を持ちながら進めていくことが重要です。そのためには、クラウドセキュリティを系統立てて学び、実践に結び付けていく必要があります。これは、クラウド事業者、利用者双方に必要となる知識です。

(ISC)²が提供するCCSP (Certified Cloud Security Professional) は、クラウドサービスを安全に利用するために必要な知識を体系化した資格として、クラウドセキュリティの専門知識を習得することができます。

~CISSP合格体験記~ グローバルセキュリティエキスパート株式会社 大鐘 博子氏, CISSP

◆取得のきっかけ

CISSPは知っていましたが、いつか取りたいとは思っていましたがなかなか行動に移せずにいました。東京電機大学CySec講座の講師になったこと、転職を考えたことをきっかけとして取得に向けて動き始めました。

◆受験勉強

勉強期間は3か月、方法は以下の通りです。

1. トレーニングテキストを3回熟読
2. CISSP Official (ISC)² Practice Testsなどの参考問題を3回解く
3. 理解度に不安がある、参考問題で間違えた箇所をCISSP公式ガイドブックで復習

復習するためにはCISSP公式ガイドブックが最適です。また、受験後も折々、確認したい場合に使う事典としても有用です。

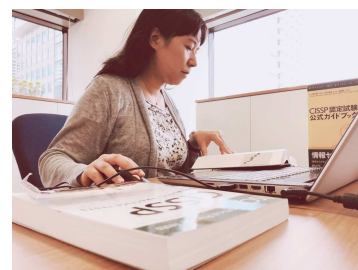
◆試験

時間配分を考えなかったため、一通り回答し終えた時には4時間以上経過しており見直しがほとんどできませんでした。

◆これから試験を受ける方へ

参考問題は最低3回は解いておくことをお勧めします。1回ではたまたま正答しただけの可能性があります。3回解くことによって自分が本当に理解しているかどうかわかります。

また、試験の際、時間配分を考えておくことをお勧めします。6時間はあっという間です。



(ISC)² Japan Chapter の活動

(ISC)² Japan Chapterは、日本における情報セキュリティレベルの向上を目的とし、日本在住の多国籍な情報セキュリティ専門家の能力を高め、相互の技術交流および情報共有を促進する場を供し、そこから得られる知見についてグローバルに発信を行う団体です。

(ISC)²とは異なる組織として運営していますので、メンバーになるためには登録(下記)が必要です。

■ 勉強会WG

Chapterメンバーのスキル向上のために定期的に勉強会を開催しています。勉強会に参加することでCPEを獲得することができます。

**■ J-WISE (Japan Women in Security)**

J-WISEは、日本の情報セキュリティ分野における女性の活躍を推進することを目的に設立された会です。定期的に会合を行い、意見交換を行っています。

**■ Glossary WG**

(ISC)²の資格試験やCBK、各種出版物の翻訳時に使われる用語集(英語→日本語)を検討するWGです。結果は(ISC)²本部にフィードバックします。

**■ English Speaking Professionals WG (ESP-WG)**

Provides networking opportunities to the information security professionals who speak English.

**(ISC)² Japan Chapter 会員登録のお願い**

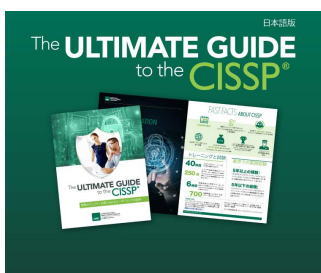
是非、Chapterメンバーとしてご登録ください。ご登録いただいた方には、さまざまなイベントの情報を提供いたします。また、(ISC)²メンバーの方は、これらのイベントに参加することでCPEを獲得することができます。

※ 詳しくは <https://sites.google.com/cissp.jp/chapter/> まで。

Twitter: @ISC2jpChapter

お知らせ**■ Ultimate guide**

CISSP及びSSCPのUltimateガイド日本語版がダウンロード可能です。CISSPもしくはSSCPの取得をお考えの方は是非ダウンロードしてください。



<https://www.isc2.org/Certifications/ultimate-guides/cissp/jp>

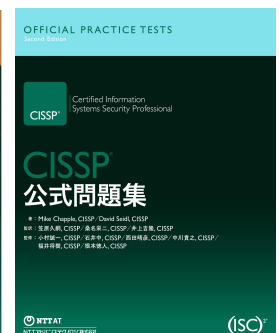
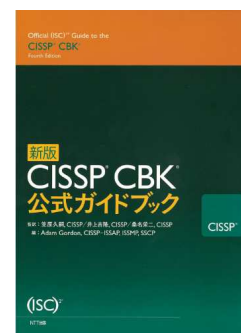


<https://www.isc2.org/Certifications/Ultimate-Guides/sscp/jp>

■ 8ドメイン版CISSP CBK日本語版及びCISSP公式問題集発売

昨年7月、NTT出版からCISSP 8ドメイン版に対応したCISSP CBKの日本語版が発売されました。CISSP CBKは情報セキュリティの知識を体系化したもので、CISSPの受験を考えている人には必携の書籍です。印刷版は25,000円(税別)、電子書籍版は22,000円(税別)。Amazon等で購入することができます。

また今年6月には、CISSPの公式問題集が発売されました。1000問以上の問題が掲載されており、受験前の腕試しには最適です。電子書籍として発売しており、honto、Appleブック、ヨドバシ、楽天ブックス、Music.jp、どこでも読書、やまだ書店にて3,000円(Appleブックのみ別価格)(税別)で購入することが出来ます。



(ISC)² CEO David Shearer氏

1年が無事に終わり、また新たな1年が始まることをとても嬉しく思います。

安全で安心なサイバー世界の実現を目指す(ISC)²のビジョンを達成するために、日々ご支援くださりましてありがとうございます。(ISC)²メンバーの皆様へ改めて感謝の意を表します。

私たちは、グローバル(ISC)²チームがメンバーの皆様へ貴重な価値を提供するというコミットメントを続けていく中で、2018年に成し遂げた進歩と発展を非常に嬉しく思います。今日は、強化されたサービス・ツールに関する情報を共有させていただきたいと思っています。

(ISC)²の2019年

◆多要素認証 (MFA)が利用可能に
(ISC)² メンバーアカウントで多要素認証(MFA)が利用可能になりました。ぜひご利用ください。

◆デジタルEnd-To-End トランスフォーメーション

昨年はITシステムに多くの投資をしました。オンラインでのプレゼンスを大きく改善させ、(ISC)²チームは日々の業務で活用しています。

◆(ISC)² Security Congressの成功

Security Congressが2年連続で満席であったことを大変喜ばしく思います。今年は、10月28～30日、フロリダ州オーランド、ウォルト・ディズニー・ワールドで開催されます。参加登録ページは既に公開されています。是非ご参加ください！

◆人材供給のギャップについての調査

昨年私たちはサイバーセキュリティ人材調査を行い、サイバーセキュリティ人材の不足が世界で293万人に達することを確認しました。

◆Think Tank Webinarが受賞

専門家との60分間のディスカッションを特徴とするこのチャンネルは、BrightTALKからIT部門で最も成長したチャンネルとして表彰されました。

◆プロフェッショナルデベロップメント

(ISC)² メンバーが無料で受講できるコースを提供しています。新年にさらに多くのコースをお届けすることを楽しみにしています。

最後に、今年は(ISC)²が30周年を迎え、世界中でのメンバー数が15万人に達する見込みです。(ISC)²のさらなる成長と発展が期待されます。

2019年も皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

■(ISC)²主催イベントのご紹介

- ◆CISSPチャレンジセミナー (隔月開催)
「CISSPとしての考え方」をご紹介。
毎回満員になる人気セミナー。
- ◆SSCP 1Dayセミナー (隔月開催)
SSCPを取りたい人向けの1日セミナー。
グローバル資格を取得するチャンス。
- ◆CCSP チャレンジセミナー (随時開催)
CCSPの取得を考えている方向けセミナー。
クラウドセキュリティ資格を理解。
- ◆(ISC)² Night (随時開催)
最初の一步。カジュアルなイベント。

いずれも参加は無料。



8月29日、初の沖縄チャレンジセミナーを開催しました。

(ISC)²認定講師である淵上真一氏が「CISOに必要な情報セキュリティの知識と考え」をテーマに講義を行い、38名が参加しました。



イベントの詳細情報は
(ISC)² Japan 公式Web にて公開中！
詳しくは <https://japan.isc2.org/> まで。

(ISC)² からのお知らせ

- ✓ メールのOpt-Inをお願いします：(ISC)²メンバーの方は、是非メールをOpt-Inしてください (GDPR対応のために全員が一旦Opt-Outされました)。メンバーサイトにログイン後、右上に表示されている自分の名前からプルダウンで「CONTACT PREFERENCES」を選択すると設定できます。
- ✓ 年会費が変わりました：2019年7月から、年会費が\$125USDに変更になりました。今までは資格ごとにお支払いいただく必要がありましたが、資格の種類・数に関わらず同額となります。

Don't Miss Out!

Stay Connected with (ISC)²

編集・発行：

(ISC)² (アイ・エス・シー・スクエア)

〒163-0532 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル32F

TEL: 03-5322-2837(代) E-mail: infoisc2-j@isc2.org Webサイト: <https://japan.isc2.org/>

小熊 慶一郎 / Keiichiro Oguma, CISSP / Director of Business Development, Japan

TEL: 090-5564-7038 E-mail: koguma@isc2.org



(ISC)² APAC Secure Webinar のご案内

(ISC)² セキュアWebinarシリーズ



(ISC)² APACメンバーのCPE獲得機会として、(ISC)² Webinarシリーズを開催しています。業界をリードする企業から、最先端のサイバーセキュリティに関する情報が紹介されます。もちろん、日本語のWebinarもあります。

ライブで参加することで、直接講師に質問することが可能です。オンラインでCPEを獲得できる貴重な機会ですので、是非ご参加ください!!

また、(ISC)²認定講師によるWebinar解説もFacebookに掲載しています。こちら併せてご活用ください。

最新情報はこちらで



<https://www.isc2.org/News-and-Events/Webinars/APAC-Webinars>

Webinarレコーディング

以前開催されたWebinarのレコーディングはいつでも視聴することができます。もちろん、CPEも獲得できますので、是非ご覧ください。

Earn 1 Free CPE (ISC)² SECURITY BRIEFINGS

アプリのアクセスを制御!
クラウドベースの「ID認識型プロキシ」の仕組み

22 May 2019 (水)60分間 | 日本時間16:00 -17:00

Presented by: 中西 一博 (Akamai Technologies)

Sponsored by: Akamai

SIGN UP NOW

Earn 1 Free CPE (ISC)² SECURITY BRIEFINGS

IDを使用して組織の内と外を防御する

20 Mar 2019 (水)60分間 | 日本時間17:00

Presented by: 中西 一博 (Akamai Technologies)

Sponsored by: Akamai

SIGN UP NOW

(ISC)² WEBINARS SECURITY BRIEFINGS

Secure Summit Japan 2018

講演者: 西村 隆典, CISSP, NTPアドバイザー, 日本経済新聞 特別フェロー (PM session opening)

講演者: Wesley Simpson, Chief Operating Officer, (ISC)² (Global workforce study)

講演者: 小池 博一, CISSP, Director of Business Development, Japan (ISC)² (AM session opening / (ISC)² updates and closing)

Professional Development Institute (PDI)コース

(ISC)²は、メンバーに向けて様々な継続教育の機会を提供しています。PDIは、その一つであり、オンラインで受講することができます(英語のみ)。

「Building a Strong Culture of Security」、「GDPR for Security Professionals」、「DevSecOps: Integrating Security into DevOps」などの魅力的なコースがあります。

今後続々と有益なコースが追加されますので、お楽しみに!!



(ISC)² Security Awareness Training



Assessing Application Security



CISO's Guide to Success



Creating Your Path to CISO



Responding to a Breach



Building a Strong Culture of Security



Cyber Forensics Incident Recovery



DevSecOps: Integrating Security into DevOps



GDPR for Security Professionals: A Framework for



Official (ISC)² CISSP® Flash Cards